

TO DO OR NOT TO DO ? 迷いに迷った、トアールお話

トアール一日。12月16日土曜日、授業はなし。予定もなし。天候晴れ。この日の最低気温は-19℃、最高気温-8℃。さすがに寒いわな、という感じです。前日の最低気温は、今季最低の-24℃を記録。健康管理にはこれまでの100倍気を遣っています。今の中国では、買い物も食事もすべてスマホの操作一つで寮まで届けてくれるので、温かい部屋一日過ごすことも可能です。しかし、せっかくはるばるやって来た中国、この寒さを体験できるものと数か月です。ネイティブとの会話・交流こそ中国語上達の近道と信じて疑わない私は、1日最低3回、たとえ30秒でもネイティブとの会話を求めて今日も外へ出掛けます。

	ネットで購入	直接、お店で購入
いい点	<ul style="list-style-type: none">●値段が（信じられないほど）安い●買い物する時間、手間の節約●ものによっては返品可	<ul style="list-style-type: none">●商品を自分で確かめられる●価格交渉可（中国では当たり前のこと）
悪い点	<ul style="list-style-type: none">●質の問題（粗悪品が横行している）●便利すぎ？	<ul style="list-style-type: none">●値段が（ネットより確実に）高い●買い物する時間、手間がかかる
賛成者	<ul style="list-style-type: none">●留学生仲間●中国人の学生（男女とも）	<ul style="list-style-type: none">●中国人の年配女性2人

今回の話題は「ネット販売」。中国人のみならず、多くの留学生も毎日のように利用しています。「昨日ネットでこんなもの買ったよ！」という話題は結構盛り上がるし、各種情報収集にも欠かせません。日本でもある程度は普及していますが、中国は日本の100倍進んでいます。精読担当の女性教師は「私は最近、買い物はすべてネット通販、ここ最近はお店というものに行ったことがない。」と堂々と授業で言っていました（事のよし悪しは知りませんし、とやかく言うつもりはありません）。かく言う私もいつでもネット通販を使える状態にあり、中国では手に入らない納豆やふりかけ等、ちよくちよく利用しています。

私が中国へ到着したのは夏の盛り、8月31日、持参した衣類は必要最小限のみで、冬服は現地

調達！と最初から決めていたので、真冬用のコートを購入せねばなりません。周りの留学生の多くはネットで購入して、よく自慢話を耳にします。確かに土木作業員が真冬に着るような、いわゆる「ドカジャン」ってヤツがネットでなんと20元くらいから購入できるのです。留学生が飛びつくのも無理はありません。しかも、このひと冬を持ち堪えてくれれば御の字で、日本に持ち帰るつもりもありません。ただし、粗悪品も相当出回っているようで、中国人の友人女性ふたり（ちょっと年配！）には、ネット購入に大反対されました。一人は図書館に勤務する女性、もう一人は10月号のAさんです。二人とも私が困っていると手を差し伸べてくれるので、私もこのふたりには相当、信頼を置いています。ただ、周りの留学生がネット購入した暖かそうなコートを見ると、手が出そうになります。私もネット購入に傾きかけたのですが、自分の内なる声が「待った！」をかけます。「お前、何しに中国へ来たんだ！洋服を買う時は、中国人と話をする絶好のチャンスではないか、こんなチャンスを逃していいのか？」そうです。店の店員はこちらの話には必ず耳を傾けてくれます。「もっとゆっくり話してくれ。」と言えばゆっくりしゃべってくれるし、「あなたの話がよくわからん。」と言えばわかるまで説明してくれます。たとえ時間とお金が少々かかろうが、ここは授業料と割り切ることにしました。じっくり店員と会話をして中国語を上達させてくれる、またとないチャンスです。いくつかの店をハシゴし、全く買う気がなくても、買ったような振りをすれば店員は、さあ買ってくれ、と言わんばかりに説明をしてくれます。こんな感じでいくつかの店を回り、相当な会話をすることができました。こうして最終的には、山西大学東門から徒歩10分くらいのトール小ぢな小ぢな洋品店でコートを購入したのでアマリス（本来250元でしたが、値切りに値切って200円で購入したことも付け加えておきます）。

なお、この店の女性店主、とても親切で優しい方なのですが、本人及び店内の写真撮影は頑なに拒否してきたので、今回、写真掲載はできません（店の外観のみ）。



★トータル日の食事

- ①朝（学内） 朝、西門食堂で購入したハンバーガーセット。12元。Macの美味しさを100とすると、60くらい。吉野家の特朝が食べたい。
- ②昼（学内） 南門食堂で12月から販売を開始した焼きそば（「炒麵」という）。7元。味付けが日本人向きで、おいしいのだが、如何せん量が多く、昼にこれを食べると晩飯は食欲が湧かない。
- ③夜（寮内） 最近中華料理を食べる気が全く起きず、ひと休み。恥ずかしながら、中国では手に入らない納豆、ふりかけ等をネットで購入して、ごはんと一緒に食べるという生活が続いています。なお、ごはんは西門食堂のAさんがお茶碗2杯分のご飯をなんと0,5元で売ってくれます！！
あと半年間、何を食べるか、結構アタマの痛い問題です。

この日の食事代合計 25元くらい（1元≒20円）

①



②



③

